

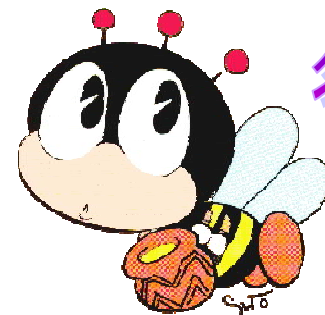


こくさい、こうりゅう

国際交流ニュースレター

第13号

なとりしそむぶそむか
発行:名取市総務部総務課(平成20年6月20日)



名取の“環境”マナビイ国際交流 ～海外の人と一緒に、名取研究～

国際交流ボランティアグループ ともだち in 名取 の皆さんが名取市生涯学習グループ自主企画講座を開講しました。全2回にわたる講座で6月1日(日)行われた「ゆりあげDAY」の活動内容を皆さんにご紹介したいと思います。

雨の日が続いた週でしたがこの日は晴天に恵まれ、朝早くから東北大学や宮城工業高等専門学校に通う留学生と名取市にお住まいの海外の方々を交えて、朝市見学や海浜植物「ハマボウフウ」の移植体験など学びながら、国際交流を楽しみました。

朝市では笹かまぼこを自分で型どりし、焼くというなかなか出来ない体験をしました。宗教上の理由で肉が食べられないインドネシアの学生さんもいましたが、材料が魚と知るととても美味しいと喜んで食べていました。

またこの日は名取市が主催する閑海岸一斉清掃も行われ、地元住民の方々をはじめとした皆さんと一緒に参加しました。ご協力ありがとうございました。

約1時間後の清掃活動後、宮城県農業高等学校の生徒さんたちが育てた「ハマボウフウ」の苗を移植しました。絶滅寸前とまで言われた「ハマボウフウ」この苗が名取の国際交流のようにすくすくと育っていくといいですね。

名取の環境を学びながら市民と交流した留学生や海外のみなさんはとても充実した1日だったことと思います。第2回は「大曲DAY」を8月23日(土)に開催します。名取の昔の生活や歴史について学んだり、英語で昔話をしたりと盛り沢山な内容です。楽しみですね!



参加者のインドネシア人エデス君とフィンランド人留学生アキ君、「名取の人々が環境をもっと考慮するといいですね。」とエデス君。



派遣団員とオーストラリア、マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジの生徒のみなさん

特 集
**平成十九年度名取市中学生海外派遣事業
オーストラリアで学んだこと**
三月十日(月)～十八日(火)の日程で、平成十九年度中学生海外派遣事業が実施され、二十二人の中学生と五名の特別団員(随行員)がオーストラリア、ビクトリア州モナッシュ市を訪問し、四泊五日のホームステイを体験しました。

中学生海外派遣事業とは
「名取市中学生海外派遣事業」は、国際性豊かな人材の育成を目的として行われて事業で平成三年度から市内在住の中学二年生を対象に実施されており、今回で十五回目となりました。毎年、カナダとオーストラリアの中学校を交互に訪問しており、今年の訪問国はオーストラリアです。二十二人の派遣団員たちは州都メルボルン近郊のモナッシュ市にあるマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジを訪問し、現地のご家族に四泊五日という短い期間でしたが、家族の一員として迎えられました。

じょうほう 掲示板

今号もなとり国際交流ニュースレターをお読みいただきありがとうございました。今回は中学生海外派遣事業にちなんでオーストラリアの話題をお届けしましたが、いかがでしたでしょうか。

このニュースレターでは海外での交流体験だけでなく、市内で国際交流や多文化共生に関わっている方の活動や、名取にお住まいの外国人の方を紹介するなど、私たちの身近な話題も取り上げていきたいと考えています。

ぜひ皆様の身近な方たちの情報をお寄せください。名取市の国際交流に関するご要望もお待ちしております。

【情報はこちらへ】
〒981 1292 (住所記入不要)
名取市総務部総務課広報聴係
電話 384-2111 内線 317 FAX384-9030
Eメール: soumu@city.natori.miyagi.jp

平成19年度名取市中学生派遣事業写真展 「オーストラリアの友人と発見したもの」

特集でもご紹介した中学生海外派遣事業の写真などを、名取駅自由通路「ウイングロード」に展示します。派遣された中学生たちの生き生きとした表情や活動内容がリアルに感じ取ることが出来る写真展です。ぜひご覧ください。

日にち
平成20年7月8日(火)～21日(月)
場所
名取駅2階東西自由通路「ウイングロード」



マウントウエイバリー校と名取市
マウントウエイバリー校と名取市の交流は平成六年度から始まり、今回の訪問で七回目となりました。マウントウエイバリー校からも生徒たちが名取市を訪問しています。そして、二年前の「日豪交流年」であった二〇〇六年四月五日に、名取市はマウントウエイバリー校と交流協定を締結し、交流がより一層深まりました。



一昨年に記念植樹した桜の近くにあったプレート。桜の木は順調に成長していました。

オーストラリアの学校生活

派遣団員はマウントウエイバリー校でホストブラザー・シスターと対面しました。

廊下ですれ違つたとマウントウエイバリー校の生徒さんが気さくに「こんにちは！」と日本語で声をかけてくれ、緊張していた私たちはホッと一安心しました。

派遣団員たちは母国語（英語）、音楽、美術など五科目の授業に参加しました。マウントウエイバリー校の授業は一日七時間で日本とほとんど変わらないそうです。

歓迎会では「ソーラン節」と歌を披露しました。蒸し暑い体育館での踊りは大変でしたが、たくさんの方の拍手でマウントウエイバリー校の生徒さんたち



歓迎会でソーラン節を披露

に喜ばれました。

また、派遣団員も踊りや歌を通して日本を紹介出来て満足だったようです。

また団員たちはホストシスター・ブラザーと一緒にヒールズビル・サンクチュアリ動物園を見学しました。

おなじみのコアラやカンガルーを始め、ウォンバットなどオーストラリア特有の動物たちに触れ合いました。

売店で購入したカンガルーの耳の髪飾りを着けていたら地元のいろんな人から声をかけられて、それがきっかけとなり仲良くなれた派遣団員もいました。



初の海外授業体験中

楽しかったホームステイ

四泊五日という短い期間のホームステイでしたが、ホストファミリーと折り紙を作ったり、スポーツや買い物に行ったりとそれぞれの家庭で思い思いに楽しんで過ごしました。

また、日本の代表的料理の「みそ汁」を作り、持て成した団員もいて、ホストファミリーに好評だったのではと思われず。

言いたいことがなかなか伝わらなかつたり、習慣の違いで戸惑いを隠せなかつたりしたこともありましたが、「今回の派遣事業で一番心に残ったことは？」との問いでは、大多数が「ホームステイ」「ホストファミリー」で

ミッションは果てしなく？

派遣されるにあたって、名取市の生徒たちは「自分がオーストラリアに行ったら何を達成したいか」という目標を決めて行きました。この目標を団員たちはミッション（使命）と呼んでいます。

ミッションの内容は七夕やひな祭りなど日本の行事を説明することや「相手の目を見て笑顔で話す」「自分から話しかける」などコミュニケーション的なことなどが多かったです。

団員たちは言葉が上手く伝



家族の一員として暖かく迎えられました。ありがとうございました！また会いに行きます！

わらない中、自分の気持ちを伝えようと試行錯誤を繰り返しました。

無事オーストラリアでの八日間の派遣を終えた二十二人の団員たちは、四月十二日（土）名取市役所六階大会議室で開催されました帰国報告会にて、家族や来賓の方々が見守る中でそれぞれのミッションの成果を報告しました。

報告をしている派遣団員の顔は達成感に満ち溢れ、この派遣事業がとても充実したものであったことが伺えました。

派遣後も「英語をもっと勉強してオーストラリアに行く」「ホストファミリーに会いに行く」など新たなミッションが出来たようです。

今後のお知らせ

今年も市内在住の中学二年生を対象とした海外派遣事業参加者を募集します。

今回の派遣先はカナダで3月を予定しています。申込書及び募集要項については各中学校、広報紙、ホームページに掲載する予定です。素晴らしい体験や、自分自身

が大きく成長出来る派遣です。たくさんのご応募お待ちしております。

また、マウントウエイバリー・セカンダリーカレッジの生徒二十五名が九月六日～十日の五日間、訪問する予定です。現地の先生と連絡をとっておりますが、詳しいことは決まり次第、皆さんにお知らせしますので、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。



一人一人達成したミッションを立派に報告しました。

オーストラリアの友達がやってくる！ 絵画・絵てがみコンクール作品募集

特集最後にお知らせしたとおり9月にマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジの生徒さんたちが名取を訪問します。

名取市国際交流実行委員会ではオーストラリアをテーマとした絵や日本の風物や季節を書いた絵てがみの作品を募集しています。皆さんの素敵な絵でオーストラリアの友達を歓迎してみませんか？

【絵画コンクール作品募集】

テーマ・イメージ

オーストラリア。（「オーストラリアの人・動物・自然と仲良くなりたい」など、オーストラリアへの思いを表現している絵）

規格

四つ切り画用紙（542mm×382mm）

部門

一般の部（高校生以上） 中学生の部 小学生高学年の部（4年生～6年生） 小学生低学年の部（1年生～3年生）

作品は各種行事で展示するほか、市で発行する刊行物・ホームページで紹介する場合があります。作品は展示会終了後に返還します。

応募方法

作品の裏に部門名、住所、氏名、電話番号を記入の上、名取市国際交流実行委員会事務局（総務課内）または各地区の公民館

【絵てがみコンクール】

テーマ・イメージ

自由。（作品は返還しないで、オーストラリアの生徒たちへのお土産とさせていただきます）

応募方法

作品を封筒に入れ、封筒に住所、氏名、電話番号を記入の上、名取市国際交流実行委員会事務局（総務課内）または各地区の公民館に提出してください。

【各コンクールの応募対象】 市内在住の方

【各コンクールの締め切り日】8月1日（金）必着

オーストラリアの生徒たちがコンクールごとに「マウントウエイバリー賞」を選びます。

どちらのコンクールも応募者全員に参加賞があります。

各コンクールに関する問い合わせは、名取市国際交流実行委員会事務局（総務課広報聴係内 3階・内線317、327）へ。

